

# 大発見の自転車駐輪場

ことし 駅西側にも建設



国鉄富士駅周辺の放置自転車を一掃しようと、昨年、駅東側に400台収容の自転車駐輪場を建設しました。

この駐輪場には現在、一日平均500台の自転車が置かれ、収容能力を越えて通路にも置かれています。しかし、駅周辺にはまだ放置自転車があるため、今年度4,320万円をかけて富士駅西側にも駐輪場を建設します。

に橋をかけ、屋根付、鉄骨平屋建ての構造で、収容能力は200台です。

これで昭和57年4月のオープンを迎えれば、歩行者や商店に迷惑をかけている放置自転車は一掃でき、歩道も整然とした姿になります。

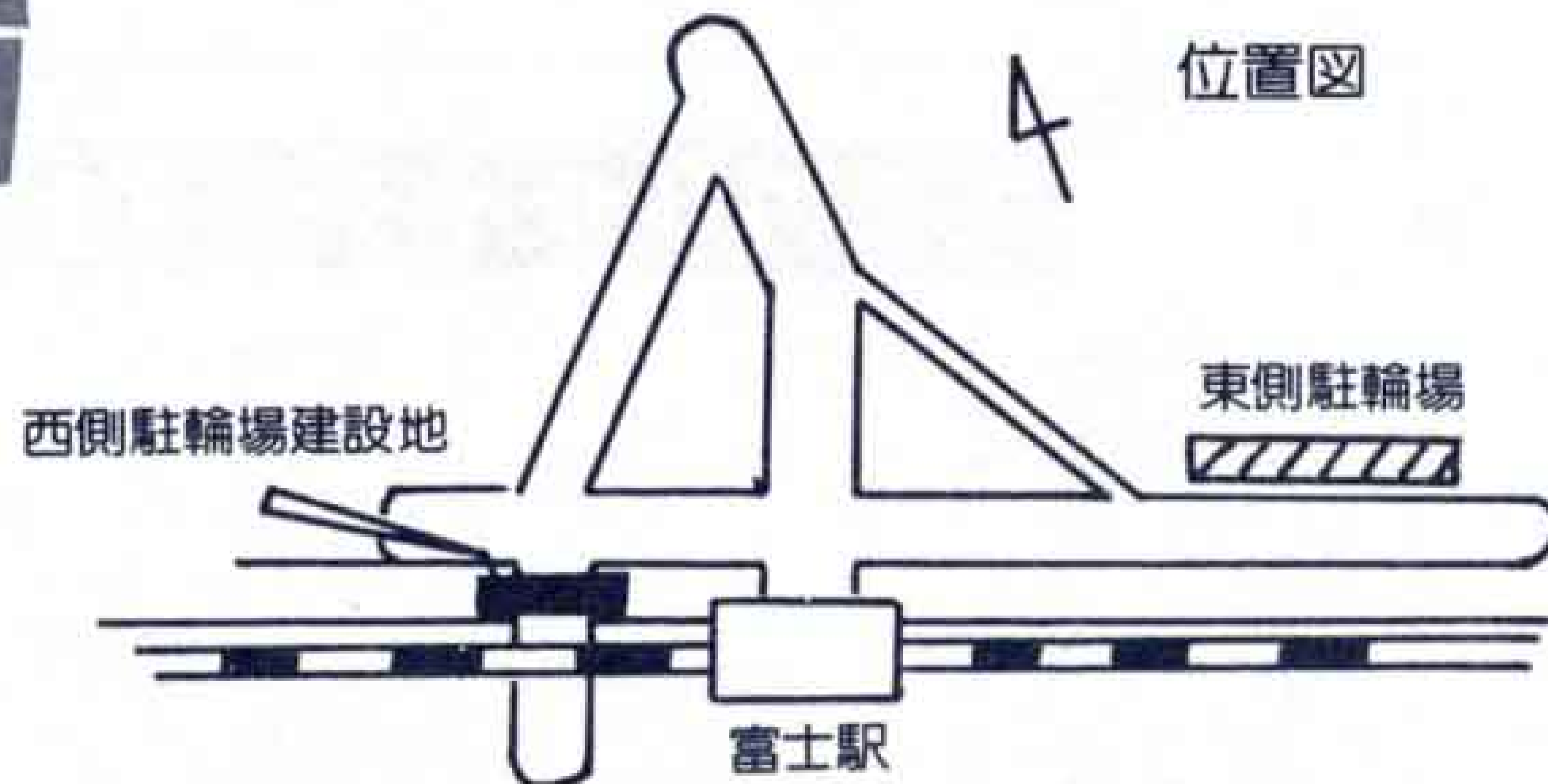
## 自転車が泣いています

現在使用されている駐輪場は、通学、通勤用の自転車がほとんどですが、マナーを疑いたくなるものもめずらしくありません。みんなで使う駐輪場です。他人のことも考えて次のことに注意しましょう。

- ◇放置してある自転車（週1回巡回し、3回目には撤去します）
- ◇新聞・雑誌・空かんなどが非常に多く捨てられています。
- ◇自転車専用の駐車場ですから、オートバイは置かないでください。

## 200台を収容

新設する駐輪場は、地下道のうえ



## 声のひろばを読んで

「広報ふじ、No.316の声のひろば欄を読ませていただき、常日ごろ私の考

えていたことでしたので、富士市にもこのような考え方をしている人がいることを知り、とてもうれしく思いました。

私は、富士市に引越して1年余になりますが、子どもたちがお金を使うことが、日常化していることにまずびっくりしました。

学校から帰るとお金を持ち、店に行きゲームを楽しみ、くじをひいていつ作られたのかわからないようなお菓子を食べながら遊ぶのです。

わが家の小学生ふたりには、全然与えない、ということもできませんので、時々30円か50円で我慢させています。友だちが、ゲームをしているときに自分は外で待っている。それができる強い子になってほしいと、子どもたちには教えています。

子どもにお金を与えすぎているおかあさんたち、どうぞ、子どもの将来のために考えなおしてみましよう。

(一母親)